令和８年９月１８日　議長挨拶（速報版）

※暫定的なものであるため、今後訂正される場合があります。

○議長（中本隆志君）　一言御挨拶を申し上げます。

本日、９月定例会が招集されましたところ、議員各位には極めて御健勝にて御参集を賜り、県政進展のため、誠に御同慶に堪えません。

まず初めに、８月中旬以降、全国各地で線状降水帯の発生に伴う大雨による浸水被害等が起きているほか、７月には10年前の震災から復興の途上にあった熊本において、最大震度７を記録する地震が再び発生いたしました。

これらの災害により、犠牲となられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。また、被災された皆様の一日も早い生活再建と被災地の復旧・復興を念願する次第であります。

このたびの熊本地震や全国各地で発生している大雨災害への対応においては、猛暑下での避難所運営や在宅・車中泊避難といった避難所以外の避難者の把握と支援、さらに道路の冠水に伴い数多くの車両が浸水するなどした内水氾濫対策など、新たに顕在化した課題もあります。

県当局には、県民の安全・安心の確保に向け、こうした新たな対応が必要となっている課題なども踏まえ、ハード・ソフト両面にわたる防災・減災対策の充実・強化に取り組んでいただくようお願いします。

次に、カキのへい死対策についてであります。

昨シーズンのカキの大量へい死では、漁業関係者だけではなく観光産業などにも大きな影響が出ました。こうした状況を受け、本年７月から、広島かきへい死アラートが運用されていますが、今月９日には、一部の海域で、最も高いレベルの厳戒アラートが初めて発信されました。

カキはこれから本格的なシーズンを迎えます。県当局には、引き続き、漁業関係者等と連携し、カキのへい死対策にしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

さて、先月27日、28日の両日、私を含む議員10名が、平和連携の初めての取組として、長崎県議会を訪問し、意見交換を行うとともに、平和関連施設の視察等を行ってまいりました。

意見交換では、両県議会の核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けた、これまでの取組や経験を共有するとともに、広島が最初で、そして長崎が最後の被爆地となるよう、両県議会が手を携えて取り組んでいくことを確認したところであります。今後、両県議会の相互交流を通じて、核兵器のない平和な世界の実現に向けた、具体的な取組につながっていくことを期待します。

次に、県内経済に目を転じますと、県内景気は緩やかな回復基調にあるとされておりますが、今月も幅広い品目で値上げの動きがあるなど、中東情勢や為替相場の影響を受けた物価高は、県民生活や中小企業等をはじめとした事業者の経営に多大な影響を及ぼしており、景気の回復を実感するには乏しい状況にあると認識しております。

県議会といたしましても、県当局と連携して、県民生活や地域経済の状況を的確に把握し、国の支援の動向も踏まえながら、機動的な対応を行ってまいります。

次に、県政運営に関してであります。

令和８年９月１８日　議長挨拶（速報版）

※暫定的なものであるため、今後訂正される場合があります。

さきの６月定例会において、本県の総合計画である「安心　誇り　挑戦　ひろしまビジョン」の見直しが議決されました。今後、このビジョンの実効性を確保するため、実行計画であるアクションプランやビジョンを下支えする行政経営の方針、中期財政運営方針のほか、様々な分野の計画が策定される予定となっております。

県議会といたしましても、県当局と活発な議論を行い、県民や県内企業等から伺った意見や要望を計画に反映させるなど、本県の持続的な発展に向け、実効性のある計画となるよう努めてまいります。

さて、今次定例会に提出されます議案は、一般会計補正予算をはじめ、条例案など、合わせて16件でありますが、いずれも県政の当面する重要案件であります。各位におかれましては、活発なる御審議を賜り、もって県民の負託に応えられますよう念願いたす次第であります。